



名古屋区でおんべが行われました

普遍的な価値と精神で磨かれた社会を守り、おんべの火のように堂々と生きていきたい。

大きな行事が大事なのか否か、素朴なコアな行事の中にそれ以上の価値が見いだせる事が多いのではないだろうか。おんべの素朴な火を見ながらコロナは敵ではない！生き方の変革を果たさない我々に警鐘を鳴らす味方としたらどうか。

コラムかなえ

早朝の賑わいと共に漆黒の空を焦がすおんべの火、歳神様を無事お見送りする大切な火「どんど焼きホーホー餅もつとんで来い」の子どもの声に心が躍る。

ここ二年、世間を騒がしている感染症「コロナ」ごときに右往左往して暮らしてきたが、これは「着古した日常」への警告ではないだろうか。

人々はコロナ社会に疲弊し元の生活に未練を持ち共有できる方策を求めて追いかけて攻められる攻防はいつしかコロナに狭められ落胆する。おんべの素朴な火を見ながら

CONTENTS

- 地域振興
市長へ要望書提出
- 子どもを育む消防団
1年を振り返って
- 消防団
署団合同訓練実施
- 生活安全
皆様に感謝の2年間
- 環境衛生
活動の振り返り・アルミ缶収益結果
- 健康福祉
1年を振り返って

地域振興

コロナ禍を乗り越え 将来に夢を繋ぐ

会長 安田完爾

令和3年度もコロナ感染と共存しながら、地に着いた事業展開が十分に図られず、悔しさと我慢を強いられた一年でした。局面毎の的確な判断のもと工夫を重ね出来る限りの諸事業を推進してこれたことに感慨深く、地域愛とふれあいを大切にする地区民のご支援の賜と感謝申し上げます。今年度は「コロナに負けず元気な地域づくりで将来に夢を」のスローガンに、どんな逆境にもめげず、今できることをチャンスに捉え歩を進めて参りました。重要課題の※複合施設建設については、新市長への覚書確認と長期事業計画の施策に載せ、10年先の姿が見えてきました。※県道青木東鼎線の下山区拡幅は測量



研修視察 千曲川河川敷台風災害現場(長野市)

が終り、次年度には設計の地元説明会が開かれる予定です。※リニア松川工区はトンネル掘削が始まり、工事の遅れに伴う変更確認書締結や地元説明会が行われ、要望事項の検証に努めて来ました。また、鼎小・中学校舎に設置した再生可能エネルギー活用事業の太陽光発電は、子供たちの身近な環境教育に役立つています。コロナ禍で人の交流が難しい中、誰でも何処からでも参画できる「鼎ホームページ」を開設致しました。新たな人や暮らしとの出会いから、地域コミュニティの交流拠点が創設され、自治会との繋がりが発信されています。これから

旧あかり保育園跡地を 避難所やいこいの広場に

鼎地域協議会
会長 澤柳忠夫

の地域社会は高齢化と核家族化の進行で、将来に持続可能な地域づくりが重要視されています。リニア新時代を迎える飯田市発展の中核を担う鼎地区は、商工農の環境と文化の調和に優れ、未来を拓く確かな進路を歩み始めています。今こそ全地区民の総力を結集し、魅力と活力ある地域づくりを進めることが重要です。

鼎地区では、点在する公共施設の集約化を図り、10年後に他地区同様の複合施設を鼎文化センター周辺に設置するよう要望しています。市の財政もリニア関連、三遠南信関連や文化会館の建設など厳しい財政状況も考え、集約する現公共用地を処分して財源確保という方針にしています。鼎図書館が自治振興センター13階に移転して多くの方が利用されていますが、旧図書館用地を下茶屋、中平区から市で取得して、避難所やいこいの広場に活用するよう要望がありました。市長と語るま



ちづくり懇談会にこのことが提案されましたが、市より、「旧あかり保育園の用地を活用してはどうか」と提案をいただきました。

地元区やまちづくり委員会、地域協議会等で協議検討を重ね、2月8日に市長に、旧あかり保育園を避難所及びいこいの広場として早期に活用できること、同広場に必要ないれ・防災倉庫・駐車場・遊具等の整備を実施することを要望いたしました。市としては、地域と協議して進めるとしていただきましたが、過大な投資は行わず必要最低限の整備をしたいともいわれています。

13回目の点火

一色区長 本島文男

大晦日の11時近く、「お年取り」もそこそこに男たちが一色神社へ集まってきました。竹宵の会の会員と、協力する各種の団体の役員たちである。御燈明からいただいた灯りを次々とリレーしていくと境内が竹の灯籠の緩やかな光で満たされます。LEDの無機質な光に慣れ始めている昭和世代にとつて、懐かしい心温まる光である。皆の思いのこもった灯りも年が明けて2時ころには燃え尽きてくる。それぞれの思いがロウソクの炎に乗って大みそかから元旦にかけての空へ届いたのではないのでしょうか。一日も早く、普通の生活が戻ることを祈らずにはられません。



鼎壮年団創立80周年 にあたって

鼎壮年団長 木下善文

昭和16年に創立された鼎壮年団も80周年を迎える年となりました。戦前から今日まで長きにわたって活動ができたのも鼎地区の皆様のお支えの賜物と心より感謝申し上げます。そして80年という歴史を繋いでこられた先輩の皆様方の団結と勇姿に敬意を表する次第であります。

さて、創立80周年の記念事業の一環として、2月27日に記念式典を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響をうけ残念ながら延期となりました。昨年末までは感染が落ち着いていただけに本当に残念でなりません。しかし、皆様が安心して笑顔で集まれる、そんな頃合いをみて開催ができればと計画を進めておりますので宜しくお願いいたします。これまで鼎壮年団では創立40周年、創立50周年に記念誌を発行していますが、この度創立80周年の記念誌を発行することができました。ご寄稿文を賜った皆様には本当に感



謝申し上げます。ここだから言える裏話ですが、コロナで何もかもが中止となる昨年、諦めかけていた記念事業も10月頃から感染状況が落ち着き、ようやく光が見えてきました。時間は無い。けれど、どうかして歴史に残せるような記念誌を作りたい。無謀と思えた2か月間の編集でしたが、鼎地区まちづくり委員会の皆様の後援や、多くの方々のご協力で何とか形あるもの仕上げられたのだと思っております。創立80周年記念誌「未来を鼎る」、鼎自治振興センターや鼎公民館などで見かけましたら是非ご覧いただければと思います。

こんな本いかが？

鼎図書館 関口真紀

家時間が多い日々、ぜひ読書で心豊かに過ごしましょう。



『博覧男爵』志川節子/著 祥伝社2021年

飯田の偉人で「博物館の父」、田中芳男の物語。幕末のパリ万博に参加して衝撃を受けた芳男は、やがて東京上野の博物館や動物園の基礎を築きます。昔の飯田城下を想像しながら読む楽しみもあります。



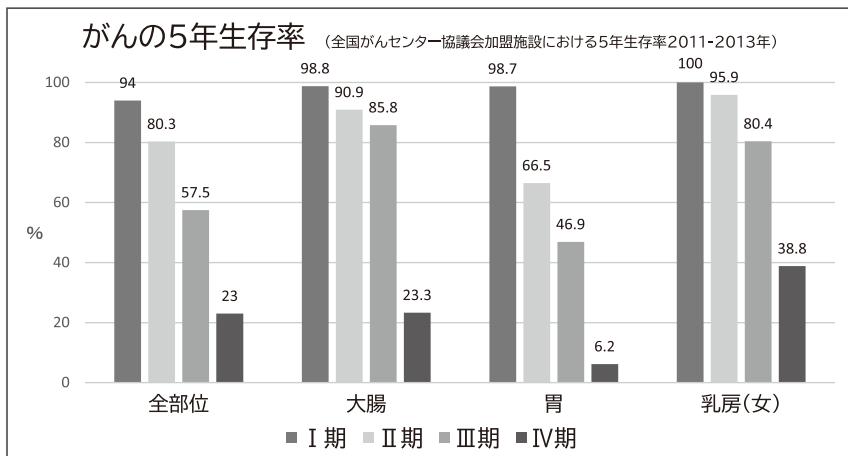
『始まりの木』夏川草介/著 小学館2020年

著者は「神様のカルテ」でおなじみの長野県に縁のある作家。民俗学専攻の女子大生、藤崎とその指導教官で優秀だけれど偏屈な民俗学者、古屋が日本中をフィールドワークに出かけ、生きることで、学ぶことの意味を問い続けます。人の真の優しさを感じ、胸が熱くなる物語です。

家族ぐるみ・地域ぐるみで健康づくりを！ ～がん検診を受けましょう～

現在、日本では一生のうちに2人に1人ががんになると言われています。下のグラフは、部位ごとのがんのステージ別5年生存率を示したものです。大腸は男女ともに罹患数が多く、胃は男性に、乳房は女性に多いがんです。進行度を示すステ

ージの数字が小さいほど、がんが狭い範囲にとどまっており、治療効果が得られやすく、5年生存率は90%以上となっています。がんによる死亡を防ぐためには、がんの早期発見・早期治療が重要です。



一人でも多くの方のがん検診を受けていただくよう、今年度もまちづくり委員会、健康福祉委員会では、組長さん及び班長さんのご協力を得て、がん検診の申込書を回収することに取り組みました。ご協力ありがとうございました。

申込書を提出し忘れてしまった方、追加で検診を申込みたい方は、随時お申込を受け付けております。飯田市保健センターまたは鼎自治振興センター保健師までご連絡ください。



一年を振り返って

委員長 林 専市

今年度も、昨年度に引き続きコロナ感染防止対策が求められる状況が続いていたことから、何とかして事業が実施できるような工夫をしながら活動を進めてきました。7月には鼎小学校で2年ぶりに体験学習事業を実施することができ、また各支部では特色ある事業を計画し、夏休みには七夕祭りや勉強会を行うなどの居場所づくり事業を、また12月にはおやすづくりなどの世代交流事業を行って、地域の方々とのおふれあい、親睦を深めることができました。また、今年度は新たに「子どもを守る安心の家マップ」を作成し、9月に各区公民館に掲示しました。これは子ども達の通学路と安心の家の場所を地図に表示して可視化することによ

り、地域の皆様にも日頃から関心を持っていただき、見守りに役立てていただきたいとの思いからです。また、各支部では通年で登下校時の見守り、あいさつ・声かけ活動を続けてきました。定期的に黄色のベストを着用して見守りを行うことは、間接的にドライバーにも安全運転を意識させるとともに、地域の防犯にも役立つているものと思います。この2年間難しい運営を余儀なくされましたが、子ども達が安全に過ごせたことに対し、事業に関わっていただいた関係者の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げます。



名古熊区おやす作り

下茶屋 親子稲刈り体験

今年度もコロナ感染が収束できない中で始まった一年で

ありました。矢高神社春季祭典は大幅に縮小され、鼎ペタンク大会、納涼祭、運動会は中止となり、思案する中で、9月半ばを過ぎてからは幸



いにも落ち着きを取り戻してきたこともあり、下茶屋区では去年計画をしてできなかった「親子稲刈り体験」をすることにしました。下茶屋で田んぼを所有している方にお願

下山 今年度を振り返って

いをして、大人16人、子ども15人に参加をしていただきました。子ども達にとっても親

御さんにとっても、稲刈りは初めての方が多く不安でありましたが、刈り方の手ほどきを受けて始めました。まずは



全体事業 体験学習



子ども達の好きなキャラクターのエコバック、文房具、お菓子等をプレゼントしました。子ども達は大喜びでした。

ンジメント、勾玉づくり、木の表札づくりに大勢の子ども達が参加できました。勾玉づくりには二十数人が参加し、一生けん命紙やすりで勾玉を好きな型に削り、宝石を磨くように大事に磨いて、好きな形に近づけていきました。最後に水で洗い完成です。子ども達は完成した喜びに笑顔一杯でした。

地区でも獅子舞、魚のつかみ取り、納涼大会等中止、飲食等ができなくなり子ども達の楽しみがなくなり残念でした。

子どもを育む委員会では、小学校PTAと協力して少しでも子ども達が笑顔になるように、支部子ども会の時に七夕の会、クリスマス会を行い、七夕のかざりつけやサンタクロースになり、



消防団員を募集しています！

消防団では団員が大変不足しており、活動に支障が出ております。

仕事や家庭があり、さらに消防となれば負担になることでもあります。家族や仲間との協力により活動しています。年齢や職業の異なる仲間と一緒に汗をかいたり、苦しんだり、笑ったりできる人間関係は財産になりますし、楽しく活動できることも多くあります。県地区の安全を守るために一緒に活動してくれる方の入団を心よりお待ちしております！

気になることがありましたら、お気軽にお問い合わせください。(担当 岡本)

電話 090-9667-6397
メール otokam_otomako7891@yahoo.co.jp

令和4年度 新幹部員

(出身班)

【分団長】

岡本 誠 (自動車班)

【副分団長】

羽場 功 (東鼎班)

【庶務部長】

上野 秀 (名古屋班)

【消防部長】

小木曾泰斗 (東鼎班)

【庶務班長】

吉川 隆志 (切石上班)

4月より新体制でスタートします。県地区のために精一杯努めていく所存ですので、よろしく願います。



年末警戒

12月末は毎年、年末警戒を行っており、夜間に詰所に詰めて有事の際に即時対応できる態勢を整え、交代で地区内巡視を行います。今回は最低限の人員での実施となりました。

期間中は市長などの巡察が一回あり、県では巡察者に例年豚汁を振る舞っており、寒い中で食べる豚汁は格別においしく、多くの団員がお代わりをしておりました。詰所にいる間は特にやることがないので、トランプなどのゲームをやったり、お菓子を食べながらおしゃべりをしたりなど、団員同士の親睦が深まる機会でもあります。



署団合同訓練

12月10日(金)午後7時から飯田広域消防署本部で署団合同訓練を行いました。

静岡県熱海市の土砂災害で実際に活動した消防士の方から講義を受け、ぬかるんだ地盤へコンパネを敷き並べることで、救助活動などがスムーズに行えたということが特に印象的でした。また、建物火災の講義では、火災時は特に延焼を防ぐことが重要であり、消防団は建物の間への放水を行うことが最も有効であることなどを学びました。

こういった訓練を通じて消防団員が有事の際に主体的に行動できるよう努めてまいります。



少年消防クラブ員募集

10月10日(日)の午前から飯田広域消防本部にて、任命式及び消防署の見学・各種体験が行われました。

消防車両の見学や装備品の使い方を体験するなど、クラブ員の小学生が楽しめる内容となっております。

小学生ならどなたでも入ることができます。年に数回の活動があり、消防署見学、レクリエーション、地区内広報などの行事があります。気になる方は

幹事長 秦野 陽介
電話 090-9358-6741
メール yoan_keita@ezweb.ne.jp
までお問い合わせください。





皆様に感謝の2年間

委員長 加藤 一夫

生活安全委員長を仰せつかり早2年、思い返せば反省することばかりでした。そんな私の元で支えていただきました各支部長をはじめ委員の皆様、事務局、そして鼎の皆様、感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

昨年度から引き続きコロナ禍で満足のいく活動ができなかったこと、またその中で、まだ何かできたのではないかと非常に悔やまれます。特に獅子舞、神輿等の警備がまともでできず経験が積み重なったことが懸念されます。ただ、本年度「飯田O.I.D.E長姫高校地域人教育鼎グループ」の生徒たちに夏の人波ルート作戦に参加していただけたことはとても良いことだと思います。

できれば次年度以降も継続していただければと願っています。ここで皆様にお願いをしたことは再三申し上げていますが、自動車を運転される方は「早めのライトオン」また歩行者の方は、夜間安全に歩行するために反射帯またはライト等で「自分の存在をアピール」を宜しくお願いいたします。一人ひとりのちょっとした心掛けが交通事故の減少、そして交通事故ゼロに繋がるものと信じています。

「みんなで支えあい、安心して暮らせるまちづくり」を目指して更なるご協力をお願い申し上げます。2年間ありがとうございました。

年末の交通安全運動
 12月15日～31日
 ○人波ルート作戦
 ○交通指導所

年末の全国交通安全運動初日の12月15日午前7時より、切石体育館前交差点で人波ルート作戦を実施しました。上茶屋・切石・上山・一色・名古熊の交通指導員・女性部員44名が集まり、のぼり旗や手旗を持って通行中のドライバ

ーに安全運動を呼びかけました。

12月19日午前10時から、同場所にて交通指導所を開設しました。雪が舞い厳しい寒さの中でしたが、窓を開けて声掛けにご協力いただいたドライバーの皆さんありがとうございました。まだ明るいと感じても、安全確保のため薄暗くなる前に早めのライト点灯を心がけてください。



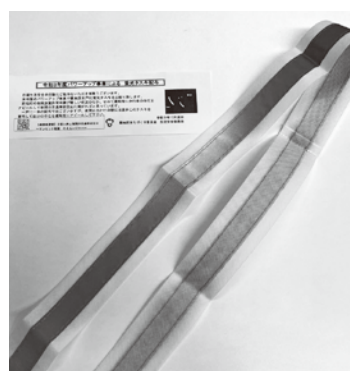
パワーアップ事業

〜反射タスキを各戸に1本お届けしました〜

本年度の鼎地区パワーアップ事業の助成金を受け、反射タスキを12月に配布致しました。各戸に1本だけですが、夜間の歩行時にご活用をお願いいたします。

暗い夜道、自分は見えていから大丈夫ではなく「自分の存在を運転手に知らせること」が夜間の交通事故防止の

第一歩です。また反射タスキだけではなく、ライト等を併用して運転手に対して十二分に存在アピールをして夜間の交通事故防止に心掛けをお願いいたします。



身近な事故に備えるため、

長野県民交通災害共済に加入しましょう!!

- 会費 400円(1人年額)
- 見舞金 入院、通院実日数2日以上2万円～死亡100万円

令和4年3月末までに加入すれば同年4月1日～令和5年3月31日まで、4月以降随時加入の場合は会費納入の翌日～令和5年3月31日までが見舞金支給の対象となります。

市役所会計窓口・各自治振興センター・りんご庁舎市民証明コーナー・市内金融機関(ゆうちょ銀行、郵便局を除く)にてお申し込みください。



環境衛生

2年間の環境衛生活動を振り返って

委員長 林 正彦

環境衛生委員長として2年間活動させていただき、事務局や各支部長さんなど多くの皆さんにいろいろ教えていただき大変お世話になりました。ありがとうございます。

この2年間は、新型コロナウイルスの影響で始まりオミクロン株の影響に終わるとい感じでした。多くの行事が中止や延期になり、活動自体がなかなか難しい状況でした。

その中で一番印象に残っていることは、ペットボトルのリサイクルセンターに視察に行った時のことです。県外からもペットボトルが入ってくるのですが、県外からのものは汚れていたり、分別もきちんとされていないものが多い

ありました。しかし、飯田市からのものはきちんと分別も洗浄もされていきました。これも地域の皆さんのリサイクルへの関心の高さであり一人一人の協力で成り立つことだと思えます。ありがとうございます。

ただ、その一方でごみ集積所やアルミ缶回収所への不法投棄も多くあり、ごみ出しのマナー低下も目立ってきたと思います。そのため、一部の支部ではアルミ缶回収を辞めてしまったり、対面での回収のみに変更してしまったりとも残念なことだと思えます。各地区でごみ出しマナー向上のため勉強会などを行っています。勉強会に出る方は日頃からマナーが良いと思うのでそれ以外（組合未加入の方や地区外の方）ではないかと思えます。

これは県だけでなく、飯田市全体で取り組む必要があることだと思えますが、2年前に皆さんにお願いした「ルールを守ってゴミ出しを」を今一度お願いします。2年間いろいろお世話になりました。



リサイクルセンターに集まるペットボトル

アルミ缶収集事業

県地区では各地区の皆様のご協力によりアルミ缶収集事業を行っています。今年度も年間を通じて400袋以上のアルミ缶を収集することができました。これはひとえに皆さんの意識と環境衛生委員の日頃の活動による結果であり、誠に感謝申し上げます。

今年度はアルミ缶の取引単価が大幅に上昇したこともあり、各支部へ例年以上の配当をすることができました。この配当金は各支部環境衛生事業に役立てられますので、引き続きアルミ缶収集事業にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

年間取引金額 736,725円

支部名	回収袋数	配当金額
下山	35	45,898
東 鼎	19	27,202
西 鼎	47	59,920
下茶屋	29	38,887
中 平	14	21,359
上茶屋	42	54,077
切 石	79	97,312
上 山	82	100,817
一 色	113	137,040
名古熊	25	34,213
県小学校寄付	-	60,000
県中学校寄付	-	60,000

※配当金額
各支部…「均等割 5,000円+袋数割」
小・中学校…「一律 60,000円」

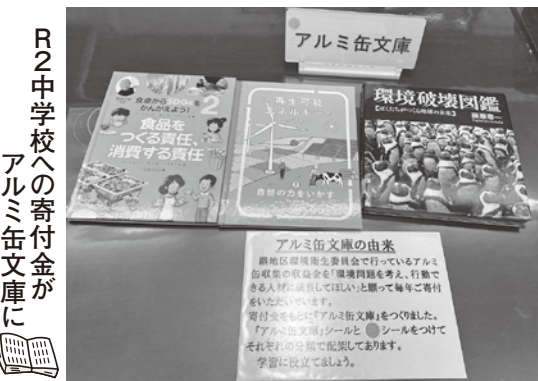
R4.2.7 寄付受け渡し



県中学校



県小学校



R2中学校への寄付金がアルミ缶文庫に

子どもたちの環境に関する意識を高めてもらうため、県小学校、中学校に寄付も行っています。
昨年度の県中学校への寄付金は、アルミ缶文庫として生徒の皆さんのもとに届けられ学習に役立てられています。

健康福祉

一年を振り返って
委員長(中平) 川口充央

新型コロナウイルス感染症は相変わらず終息が見えてこない状況で、現在は第6波の渦中にあります。健康福祉委員会においても、この2年間で各種の研修会が実施をできま

せんでした。
また各地区の「ふれあいサロン」も様子を見ながらの開



コロナという厳しい中、多くの方に文化祭においでいただきました。改めて感謝申し上げます。

催となつています。そのような現状を鑑み、活動の中心は、日々の見守り活動と、住民支え合いマップの更新・活用に重点を置いて活動を行ってきました。各地区において若干の差はありますが、健康福祉委員会のご尽力で、無事に行うことができたと思っています。

また、昨年から取り組んでいるフードドライブの活動は、「ふるさと鼎ふれあい広場文化祭」において実施することができました。少しずつですが、鼎の皆様には浸透はしてきていると思います。今後の課題としては、各地区において各事業において開催できればと思います。



住民支え合いマップを通じて、見守りの漏れがないように

健康福祉委員会の活動は、多くの方々に支えられています。民生児童委員の方々とケアマネジャーの皆様はもとより、各地区役員の皆様や各種団体と連絡を密にして、鼎地区が温かくて優しい街になればと思います。



今後もフードドライブは継続して行ってまいりますので、ご協力お願いいたします。

音訳グループの紹介

鼎声のボランティアグループ

私も「鼎声のボランティアグループ」は鼎図書館を事務局として活動をしています。視覚障害等をお持ちで本や活字を読むことが困難な方のために、新聞記事、社協だより、広報公民館報かなえ、市議会だより、を音訳したCD、テープでお届けしています。CD、テープの音訳作業は当番制で自宅で行い、ダビ

グ作業は鼎図書館で行っています。新聞記事はテレビ等で取り上げないような地元の記事を読むように心がけています。

現在、会員14名、利用者6名で活動しています。利用者様、会員共に大募集中です。聞いてみたい方、音訳してみたい方、音訳鼎図書館へお問い合わせください。ぜひ大勢の皆様にも、CDやテープを聞いていただきたいです。

～問い合わせ～

飯田市立鼎図書館(鼎中平)
鼎声のボランティアグループ
電話 23-9901 FAX 23-9908



音訳作業の勉強をしています

鼎地区のふれあいサロンのお知らせ

鼎地区では、新型コロナウイルス対策を行いながら、世間の感染状況を見ながら活動しております。

少人数でからだを動かす等の形で「閉じこもりがちの生活のメリハリを付けた」といった方で、ご参加を検討される際は、一度事務局までご相談ください。

～問い合わせ～

健康福祉委員会事務局まで
電話 23-7100
FAX 23-7876

支部	サロンの名称	主な開催場所	実施内容
下山	ふれあいサロン下山	下山福祉センター	ヨガ体操、健康講話、茶話会
	おしゃべりひだまりサロン	下山いこいの家	茶話会、体操、レクリエーション
東鼎	ふれあいサロン東鼎	東鼎公民館	転倒予防体操
西鼎	ふれあいサロン西鼎	西鼎公民館	健康体操、健康講話、茶話会
上山	ふれあいサロン上山	上山区民センター	体操、カラオケ、茶話会
	歌を唄おう会	上山区民センター	歌を唄い楽しむ
	おしゃべりサーティー	上山4・5班集会所	体操、脳トレ、茶話会